

民生福祉常任委員会記録
(所管事務調査分)

令和元年 9 月 5 日

【開催日】 令和元年 9 月 5 日

【開催場所】 第 1 委員会室

【開会・散会時間】 午前 9 時～午後 5 時 15 分

【出席委員】

委員 長	吉 永 美 子	副 委 員 長	山 田 伸 幸
委 員	大 井 淳 一 朗	委 員	水 津 治
委 員	杉 本 保 喜	委 員	松 尾 数 則
委 員	矢 田 松 夫		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】

副 市 長	古 川 博 三	福 祉 部 長	兼 本 裕 子
福 祉 部 次 長	川 崎 浩 美	福 祉 部 次 長	岩 佐 清 彦
高 齢 福 祉 課 長	麻 野 秀 明	高 齢 福 祉 課 技 監	河 野 静 恵
高 齢 福 祉 課 課 長 補 佐	河 田 圭 司	高 齢 福 祉 課 主 査	篠 原 紀 子
高 齢 福 祉 課 主 査 兼 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 所 長	荒 川 智 美	高 齢 福 祉 課 高 齢 福 祉 係 長	古 谷 雅 俊
高 齢 福 祉 課 介 護 保 険 係 長	藤 永 一 徳	社 会 福 祉 課 課 長 補 佐	増 富 久 之
社 会 福 祉 主 査	須 子 幸 一 郎	国 保 年 金 課 長	梅 田 智 幸
国 保 年 金 課 課 長 補 佐	石 橋 啓 介	国 保 年 金 課 主 査 兼 特 定 健 診 係 長	石 井 尚 子
国 保 年 金 課 主 査 兼 国 保 係 長	伊 藤 佳 和 子	国 保 年 金 課 収 納 係 長	山 田 幸 生
国 保 年 金 課 年 金 高 齢 医 療 係 長	三 隅 貴 恵	市 民 部 長	城 戸 信 之
市 民 部 次 長	藤 山 雅 之	市 民 課 長	古 谷 昌 章
市 民 課 主 幹	藤 上 尚 美	市 民 課 戸 籍 係 長	別 府 奈 緒 美
市 民 課 住 民 係 長	岡 崎 さ ゆ り	病 院 事 業 管 理 者	矢 賀 健
病 院 局 事 務 部 長	國 森 宏	病 院 局 事 務 部 次 長	和 氣 康 隆
病 院 局 総 務 課 主 幹	藤 本 義 忠	病 院 局 医 事 課 主 査	佐 々 木 秀 樹
病 院 局 総 務 課 経 理 係 職 員	岩 本 隆 嗣		

【事務局出席者】

事 務 局 長	沼 口 宏	事 務 局 主 査	島 津 克 則
---------	-------	-----------	---------

【付議事項】

- 1 議案第 58 号 平成 30 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（国保）

- 2 議案第60号 平成30年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（国保）
- 3 議案第59号 平成30年度山陽小野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（高齢）
- 4 議案第65号 平成30年度山陽小野田市病院事業決算認定について（病院）
- 5 議案第76号 山陽小野田市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について（市民）
- 6 議案第78号 山陽小野田市執行機関の附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について（社福）
- 7 議案第79号 山陽小野田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（社福）

午前9時 開会

- 1 議案第58号 平成30年度山陽小野田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（国保）
（記録については議案分に記載）

午前10時40分 休憩

午前10時50分 再開

- 2 議案第60号 平成30年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（国保）
（記録については議案分に記載）

午前11時30分 休憩

午前11時40分 再開

- 3 議案第59号 平成30年度山陽小野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（高齢）

(記録については議案分に記載)

午後 0 時 2 0 分 休憩

午後 1 時 再開

4 議案第 6 5 号 平成 3 0 年度山陽小野田市病院事業決算認定について
(病院)

(記録については議案分に記載)

所管事務調査 病院事業報告について

【議事の概要】

- ・平成 3 1 年患者数等の動向及び資金繰り 1 月～7 月分の報告
(別添資料のとおり)
- ・市民病院経営会議概要 2 月～8 月開催分の報告 (別添資料のとおり)

【主な質疑】

大井淳一郎委員 患者数が予算に比べ少ないのはゴールデンウィークを理由にしているように聞こえる。それを想定した予算と理解していたが、違うのか。

藤本病院局総務課主幹 予算の時点ではゴールデンウィークを加味した予算を提示している。1 年の 3 分の 1 である 7 月末時点で 3 3. 3 % の基準に対し、入院患者数は 3 0. 2 %。外来患者は 3 4 % となっている。

松尾数則委員 平均在院日数が十四、五日で思ったより長いのではないか。

矢賀病院事業管理者 私は短いと感じている。また、早期に退院を勧奨するようなことはしていない。平均在院日数が短いのは、数日で退院することの多い産婦人科の占める割合が多いためである。

大井淳一郎委員 他会計繰入金 2 億 2, 0 0 0 万円の繰入理由は何か。

藤本病院局総務課主幹 一般会計からの繰入れについては、金額や時期を財政課と協議をして決定している。目的は病院の負担を減らすことであり、4 月は一時借入金の返済、6 月、1 2 月は賞与の支払のためである。

大井淳一郎委員 1 2 月は繰入金が少ないのではないか。一時借入れするのか。

藤本病院局総務課主幹 そのとおりである。

山田伸幸副委員長 経営会議の協議内容が全部署に徹底されているのか。

矢賀病院事業管理者 経営会議の協議内容はそれぞれの部署で報告するように

しているが、どの程度徹底されているかは分からない。

山田伸幸副委員長 接遇研修は窓口対応職員や患者と接する職員には必須ではないか。

和氣病院局事務部次長 今年度サービス向上委員会が発足してからは、研修はまだ行っていない。以前は各部門で講師を招き、院内に参加を呼び掛け、講習会を行っていたが、全員が受講しているわけではない。

山田伸幸副委員長 患者誤認防止の取組は努力して行ってほしい。

矢賀病院事業管理者 4月から医療安全管理者を1名、専従で配置している。医療安全に配慮した業績を上げていくことを考えている。

大井淳一郎委員 休日の一次救急医療体制の変更で、市民病院も協力するということだが、二次救急に影響が出ないか、現状を教えてください。

矢賀病院事業管理者 勤務医の負担軽減のため、一次救急は医師会の先生方が、二次救急は病院が輪番制でやっている。医師会の外科系の先生の高齢化が進み、一次救急ができないということで、市民病院でやることになった。しかし、二次が必要になった場合、二次の病院に移動してもらうこともあるので、是非理解していただきたい。

矢田松夫委員 当初、外来は1日当たり470人の患者がいた。待ち時間が長いから患者が減ったと考えている。医師クラークの導入など、待ち時間解消の取組の結果が、現在の外来患者数の416人なのか。

矢賀病院事業管理者 外来に470人も来ると入院が手薄になる。外来416人、入院183人を維持できれば、現在の診療報酬制度下では、病院は赤字にはならないと思っている。

矢田松夫委員 待ち時間を解消しても、現在の人数が限界なのか。

矢賀病院事業管理者 待ち時間は、工夫すれば短縮できる可能性はある。

矢田松夫委員 患者への対応時間を短くするのか。

矢賀病院事業管理者 そうではなく、システムの工夫である。良い医療を提供することが目標であり、診療時間を短縮することは筋が違うと考えている。

吉永美子委員長 6月議会報告会で市民から出た「いつの間にか病院行きの無料バスがなくなった」、「医療機関がなくなり、市民病院に行っても待ち時間があり、交通機関が不便である。どうかしてほしい」という意見に対し、市民病院として言えることがあるか。

矢賀病院事業管理者 埴生地区の住民が困っていることは認識している。利便性が向上できればよいと考えている。

吉永美子委員長 協議ができる場があれば、やっていただきたい。利便性の確

保は、市民病院の患者を増やすという意味でも大事なことだと思う。

午後 3 時 1 0 分 休憩

午後 3 時 2 0 分 再開

- 3 議案第 5 9 号 平成 3 0 年度山陽小野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（高齢）
（記録については議案分に記載）

午後 4 時 4 5 分 休憩

午後 4 時 5 5 分 再開

- 5 議案第 7 6 号 山陽小野田市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について（市民）
（記録については議案分に記載）
- 6 議案第 7 8 号 山陽小野田市執行機関の附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について（社福）
（記録については議案分に記載）
- 7 議案第 7 9 号 山陽小野田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（社福）
（記録については議案分に記載）

午後 5 時 1 5 分 散会

令和元年 9 月 5 日

民生福祉常任委員長 吉 永 美 子